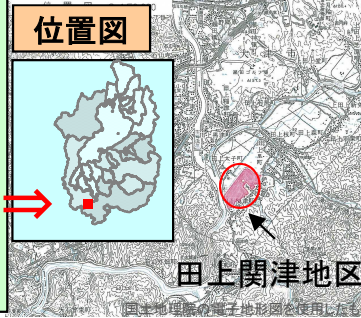


たなかみせきのつ
経営体育成基盤整備事業 田上関津地区

地区概要

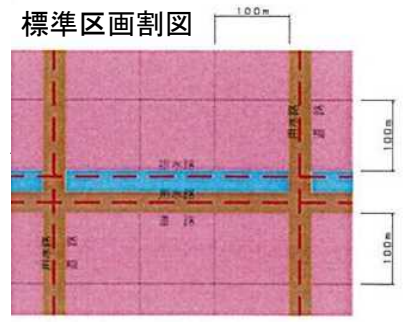
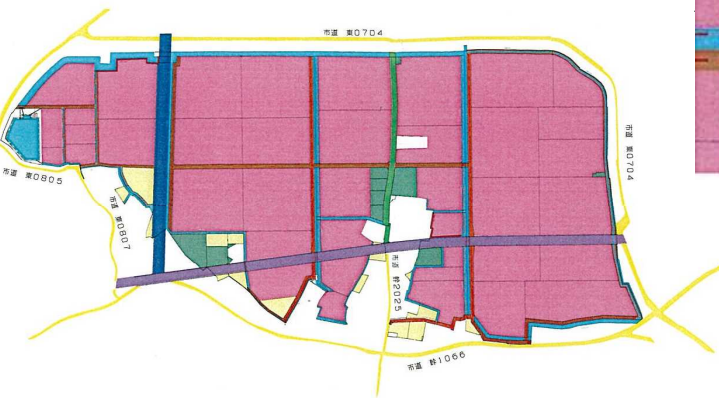
所在地:大津市
 主要工事:区画整理26.4ha 用水路整備6.4km 排水路整備4.1km、
 道路整備3.2km 貯水池整備1ヶ所 揚水機場整備1ヶ所
 総事業費:1,131百万円
 工期:平成13年度～平成21年度



事業目的

本地区は平均15a区画の不整形で、農道の幅員は狭く、用排兼用の土水路で利便が悪く農地流動化の大きな阻害要因となっていた。
 このため、本事業により農地の大区画化と用排水道路の整備を実施し、併せて生産組合(集落協業型)により農地集積を行い、生産性の向上を図った。

平面図

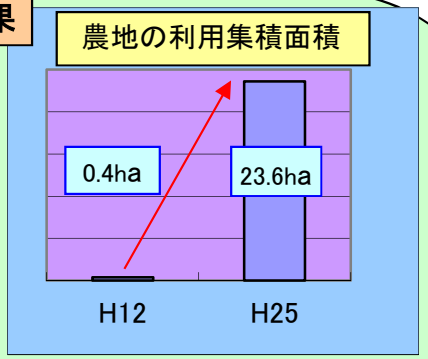


凡 例	
	水 田
	畑
	非農用地
	用水路(開渠)
	用水路(パイプライン)
	用水路(コア)
	排水路(開渠)
	排水路(コア)

受益面積26.4ha

事業の効果

・用排水路の改善や農道の有効幅員が確保されたことで、日常の営農管理や水管理労力が軽減され、労働時間の軽減や経費の節減に繋がっている。



個大区画のほ場に改善され、利用集積も進み、生産性の向上が図られた。



個水田の汎用化に伴い、大麦・大豆などの土地利用型作物だけでなく、キャベツの作付も行われている。



個事業実施前に実施した生きもの調査が現在も続いており、地域の環境保全への意識が高まった。



←用水路の自然圧パイプラインシステムの導入や循環かんがいにより、無効放流や濁水流出の軽減が図られた。

受益者等の意見

- ・大区画ほ場や道路・水路の整備により効率的な作業が可能となった。
- ・農事組合への集積が加速的に進み、大規模経営が可能となり、経営の効率化が図られた。

今後の課題

- ・今後施設の老朽化に伴い、パイプライン等の管理費が発生してくるので、将来を見通した保全管理計画を立てる必要がある。